

二中学生の質問 × 防災士解説&アドバイス

学 年	二中学生の質問	防災士からの解説・アドバイス
1 年	台風とか線状降水帯は、どうして発生するのか？	海の水があたためられてできた大量の「湿った空気（水蒸気）」が空高く上りのぼること で、巨大な雨雲に発達するのが 台風 です。 線状降水帯 は、暖かく湿った空気が流れ込み、積乱雲が次々に発生して列のようにつながること で、同じ場所で激しい雨が長時間降ります。
1 年	災害に巻き込まれたら、どんな 対処法 があるか？	まずは「自分の命を一番に守ること」が最優先です。 急な増水や土砂崩れの危険 があるときは 無理に外に出ず、家の2階や斜面から離れた部屋へ移動する「 垂直避難 」を行いましょう。 状況が落ち着いたら、速やかに安全な避難所や高い場所へ避難 してください。
1 年	荷物が1階にあるが2階に避難せざるを得ない場合、 どうやって避難所に行くのか？食べ物はどうするのか？	1階が浸水しているとき は無理に取りに降らず、まずは2階へ逃げて助けを待ちます（ 垂直避難 ）。水が引いて安全が確認できてから外に出るか、救助を呼びましょう。 食べ物は日頃から 2階にも水や簡単に食べられるお菓子などを少し置いておくとう安心です。非常用トイレも備えましょう。
1 年	大雨や災害の時に 車に乗っていた場合、どうやって回避すればいいのか？	大雨の時はアンダーパス（線路の下などの低い道路）や川の近く、山沿いの道路を絶対に走らない ことが大切です。道路が冠水している場合、車で進むのは危険です。水の深さが分からなかったり、道路が見えなくなっていたりするためです。 危険を感じたら安全な高い場所（高台や立体駐車場など）に車を止めて様子を見ましょう。車が浸水したらすぐに車を乗り捨て て冠水してない場所に避難してください。大雨のときは、できるだけ早く安全な場所へ移動します。車で避難するときも、道路が冠水する前に「早めの避難」が大切です。
1 年	家に閉じ込められて 連絡ができない時、どうすればいいのか？	まず、落ち着いて自分の安全を確保します。電話が使えなくても、スマートフォンの通信手段が使える場合があります。また、家族や近所の人に助けを求めたり、声や音を出して自分の場所を知らせたりします。 普段から、家族との連絡方法・集合場所・避難する場所を決めておく と安心です。 災害時は「連絡できなくなるかもしれない」と考えて、事前に家族でルールを決めておく ことが大切です。隣近所とも話をしておきましょう。
1 年	避難する時の ポイントをもっと詳しく 知りたい。	避難のポイントは「 早めの行動 」と「 安全な服装 」です。 ・水が流れてくる前、 明るいうちに 避難を始めましょう。 ・ 服装 は動きやすい長袖・長ズボン、履き慣れたスニーカー（ 長靴は脱げやすく水が入ると重くなるのでNG ）を選び、両手が見えるようリュックサックで移動するのがコツです。 ・杖になる 傘や棒で安全を確かめながら歩く 、 ・ 危険な道（川、水路、崖に低い）を通らない ことも大切です。冠水していたら無理に移動しないでください。
2 年	車が壊れるのは浸水深何mのところに入った時？エンジンのところまでいくと壊れるのは知っているが、具体的に知りたい。	「何mなら必ず壊れる」という決まった数字はありませんが・・・ ・ 水深が約20cm （タイヤの高さの半分程度）を超えると、マフラーから水が入ったりエンジンが吸気できなくなったりして動かなくなる危険があります。 ・ 水深約50cm （ドアの下端近く）になると水圧でドアが開かなくなり、車ごと流されてしまうため大変危険です。 ・ 車は水の深さだけでなく、水の流れや道路の状況によって危険性が変わります 。道路が冠水していたら、車で無理に進まないことが大切です。

二中学生の質問 × 防災士解説&アドバイス

学 年	二中学生の質問	防災士からの解説・アドバイス
2 年	どのようにしてハザードマップの危険区域をきめているのか？	過去の災害や地形、川の水があふれた場合などを調べて、「どこが危険になる可能性があるか」を予測して作っています。例えば… ・洪水なら、「大雨で川から水があふれたら、どこまで水が広がるか」を計算します。 ・土砂災害では、急な斜面や地質などから、土砂が崩れる可能性がある場所を調べます。 ただし、ハザードマップに色がついていない場所＝絶対に安全という意味ではありません。ハザードマップは「危険を知って、早めに行動するための地図」です。
2 年	どのタイミングで避難を始めればよいか？避難する基準は何か？	「危険になってから」ではなく、「危険になる前」が基本です。大雨のときは、気象情報や自治体から出される避難情報を確認します。特に「警戒レベル3」や「警戒レベル4」などの情報が出たときには、自分や家族の状況に応じて早めに避難を開始します。ただし、避難情報が出るまで待つ必要はありません。「危ない」と感じたら、情報を確認して早めに行動することが大切です。
2 年	土石流が発生しているところ（土石流の危険があるところ？）は、どうやって確認するのか？	事前に市町村のハザードマップで「土砂災害警戒区域」を確認しておくのが基本です。大雨の最中は、防災アプリや気象庁Webサイトの「キキクル（危険度分布）」を見ることで、リアルタイムの危険度をスマホ等でチェックできます。
2 年	洪水でおぼれた時、どうすればいいのか？	まず「泳いで移動しよう」としないことです。洪水の水は濁っていて、道路の側溝やマンホールなどが見えません。また、流れが強いと立っていることも難しくなります。もし水に落ちた場合は、できるだけ浮く姿勢をとり、流されながら安全な場所を探します。流れに逆らって泳ぐとせず、力を抜いて仰向けになり、あごを上げて「浮いて待つ」ことが鉄則です。服や靴は浮力になるので脱がないでください。もし流れてくるペットボトルやリュックなどがあれば抱え込み、救助を待ちましょう。 ただし、一番大切なのは、「洪水の水の中に入らないこと」です。川や道路が水につかっているなら、「渡ってみよう」とせず、早めに安全な場所へ避難しましょう。
2 年	水害はとてもこわいと思った。水害以外も聞きたい！	防災に関心を持ってくれてありがとうございます！ 地震や津波、火山噴火、雪害など、日本にはさまざまな災害があります。災害によって「危険な場所」や「避難方法」は違います。だからこそ、「自分の住んでいる地域では、どんな災害が起こる可能性があるのか」を知っておくことが、防災の第一歩です。防災に関する情報は、インターネットなど調べることもできます。
2 年	途中で動画再生できなくなった。後日、動画を見られるとよい。	動画が見つらくなってしまい、ご不便をおかけしました。 今回の動画説明資料を、限定公開のYouTubeで公開しましたので、アドレス「https://youtu.be/xAVSkdOVbq4」で視聴してください。 
3 年	避難所が満員になった場合、どうすればよいのか？	避難所は指定された1か所だけではありません。近隣の別の指定避難所や、安全な場所にある親戚・知人の家、高台にあるホテルや車中避難（エコノミークラス症候群に注意）など、複数の避難先を日頃から「マイ・タイムライン」で考えておくことが大切です。
3 年	ペットと一緒に避難できるのか？	避難所によってルールが違うので、事前に確認しておく必要があります。ペットと一緒に避難できる「ペット同行避難」を受け入れている避難所もあります。ただし、人とペットが同じ部屋で生活できるとは限りません。ペットのためにも、ケージ、リード、水・食べ物、トイレ用品、薬、飼い主であることが分かるものなどを準備しておきましょう。ペットを守るためにも、飼い主が防災について準備しておくことが大切です。

学年	二中学生の質問	防災士からの解説・アドバイス
3年	土砂災害は起こる前兆はあるのか？	はい、いくつかの 前兆現象（サイン） があります。「山から変な音が聞こえる」「湧き水が急に濁る・止まる」「崖から小石がパラパラ落ちてくる」「腐ったような臭いがする」などの異変を感じたら、すぐに斜面から離れて避難してください。しかし、土砂災害は 突然発生することもあります 。
3年	大雨の発生は、なぜ昔の1.5倍となっているのか？	主な原因は「 地球温暖化 」です。地球の気温が上がると海水温も上がり、空気中に蓄えられる水蒸気の量が増えます。水蒸気は雨のもとなので、大気中の水蒸気が増えたことで一度に降る雨の量が格段に増え、大雨の頻度が昔より増えているのです。
3年	どのくらい被害がでたときに避難した方がいいのか（避難する目安）がわからないから知りたい。	「被害が出てから」では逃げ遅れてしまいます！ 被害が出る前、道路が冠水したり風雨が激しくなったりする前に避難するのが原則です 。「警戒レベル3」で準備をし、「警戒レベル4」までに避難を完了させるのが目安です。テレビやインターネット（スマホ）から正しい情報を入手してください、フェイクニュースにも注意しましょう。
3年	災害の後始末は、どのような感じに進められて、どのくらいの期間がかかるのか？	災害の規模によって大きく違います。数日で終わることもあれば、何年もかかることがあります。ボランティアや行政が協力して進めます。 大きな災害では、 まず 人命救助やけが人の対応が優先 されます。 その後、 1. 避難生活、2. 電気・水道・道路などの復旧がれきや災害ごみの処理、3. 住宅の修理・再建、4. 地域の復旧・復興 というように進んでいきます。 大規模災害では、元の生活に戻るまで長い時間がかかります。だからこそ、「災害が起きた直後」だけでなく、「その後の生活」まで考えることが防災です。
3年	秋葉区内の避難所は遠いのだが、隣の区の避難所であっても避難すべきか？	はい、自分の住んでいる区や市町村の枠組みにこだわる必要はありません！ 災害時は「一番近くて、安全に行ける場所」へ避難するのが正解 です。隣の区の避難所の方が近く安全であれば、迷わずそこを目指してください。
3年	新潟県防災ナビについて知りたい。（※動画が見られなかった？）	「新潟県防災ナビ」は、自分のいる場所の危険度や避難所の開設状況、避難ルートの検索などがスマホで確認できるとも便利な公式アプリです。新潟県のホームページで紹介されていますので、確認してください。 https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kikitaishaku/1356921834049.html



情報を待ちすぎない でも、あわてて危険な場所へ行かない

災害情報、周囲の状況、ザードマップを確認して、安全なうちに行動することが大切です

家族で考えてみてください

大雨が降ったら、我が家はどこへ避難す

ペットはどうする？

いつ避難する？

家族と連絡が取れなくなったら？